

岐阜支部 役員対談

支部活動の**現在・これから**

岐阜支部では、14名の役員を中心に、年間計画に基づいて業務を行っています。本号では直近の活動を振り返るとともに、今後の組織としての方針について、本年度役員を務められた先生にお話を伺いました。

支部長：久保田 将成
(岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科)

公益事業部：本谷 郁雄
(河村病院 リハビリテーション科)

学術部：小久保 晃
(岐阜保健短期大学 理学療法学科)

聞き手 広報部：竹中 裕
(山内ホスピタル リハビリテーション部)

～支部活動の内容と**現状**～

竹中 本日はお忙しい中ありがとうございます。始めに、岐阜支部の活動の現状についてお話を聞かせていただけますでしょうか？

久保田 支部の業務として、症例検討会・研修会・市民健康講座の企画開催、健康イベントへのブース出展、広報誌発行を毎年行っています。“会員が県士会に入会しているメリットがあること”をコンセプトに運営を行ってきました。

竹中 具体的に、どのような事業に取り組まれたのでしょうか？

本谷 公益事業部として「第33回各務原市健康のつどい」と「第37回ぎふ市民健康まつり」に参加し、ホームエクササイズや体操を行いました。イベントでは当会会員のみならず、岐阜市医師会のご協力も得ることができ、大変盛況でした。この場をお借りして、スタッフとしてご協力いただいた病院・施設の先生方にお礼を申し上げたいと思います。

小久保 学術部として、2016年7月の理学療法週間全国一斉イベントでは、現職者の研修会と一般市民の公開講座を合同で開催しました。

久保田 市民公開講座は、昨年度から開始した新事業です。毎年7月17日が「理学療法の日」で、その直近の日曜日に「全国一斉イベント」が開催されています。イベントを通じ、地域住民の皆様に徐々に浸透していることを実感しました。

竹中 調査部と広報部は、昨年度、新たな試みとして、岐阜支部内で理学療法士が勤務している施設情報を収集しました。その施設情報を地域に広めるべく、広報誌「ギブロ通信」を地域包括支援センター30箇所に配布させて頂きました。

久保田 ご説明頂いた事業は、どれも営利目的ではありません。公益社団法人は、不特定多数の相手に利益を供与する事業の実施が法律で定められています。日常の理学療法業務との関連が少なく、存在感が希薄になりがちですが、当会が公益社団法人を謳っている以上、どれも必要な業務です。

7月17日開催
第2回岐阜支部研修会・
市民公開講座
「健康ライフは足元から」
講師：酒向俊治 先生



～今後の**展望**～

本谷 毎年地域のイベントで、「理学療法士って何をしているの？」とのご意見を頂きます。あくまで私感ですが、「リハビリ」に比べ、「理学療法」という言葉は認知度が低い印象を受けます。

小久保 後進の育成の観点から、理学療法士という職域を一般市民の方へ周知していく活動も不可欠だと考えます。次年度は5月5日に柳津境川緑道公園で毎年開催されている「どんとこいこい祭り」の開催に岐阜支部で出展予定で、さらに幅広く一般の方々へ情報発信ができると考えています。

久保田 市町村単位あるいは地域包括支援センター圏域単位で理学療法士と一緒に活動を展開していく事で、地域と繋がるのが出来ればと思います。

本谷 私は公益事業部の活動を通じて岐阜市医師会との連携が深まりつつあると感じています。この流れが、地域住民に対する「理学療法」の認知度向上に繋がることを期待しています。

11月6日開催
第37回ぎふ市民健康
まつり
当会岐阜支部ブース内
における体操の様子



竹中 最後に、今後の岐阜支部の活動について展望をお聞かせください。

小久保 広報活動についてFAXやホームページ以外のPR活動の拡大が重要です。本年度は市民公開講座の際、マスメディアによる取材が実現しました。研修の企画や講師選定を早急に行うことで、事前PRの選択肢も増えるはずですよ。

久保田 会員向けの連絡方法として、他支部では施設間のメーリングリストやSNSなどで情報共有できるツールが確立されています。岐阜支部は会員数や会員施設数が多く、この点について、地域単位や役割単位での組織化や情報共有手段の確立が望まれます。

本谷 公益事業部の活動は日常業務がベースラインにあります。そこがあるからこそ、年に数回市民の皆様へ「今、理学療法士が施設だけでなく、地域においても活動をしています」とお示しできると考えております。

久保田 各自治体から地域ケア会議への出席など、要請は年々増えていきます。今後は更に期待が高まるかと予測されます。自治体との太いパイプが築かれている支部もあると伺います。地域のニーズに応えるべく人材育成やネットワーク構築が必要です。

竹中 今回の対談を通じ、会員の皆様に支部活動の実際と方向性をお示しすることで、少しでも注目して頂けることを期待します。ありがとうございました。